学校番号	309

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	1	Revised BLUE MARBLE English Communication I BLUE MARBLE English Communication I ワークブック 必携英単語 LEAP　必須　英単語 英語総合問題集 UNITE STAGE I 大学入試長文シリーズ Front Runner I

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単に英語を学ぶだけでなく、実際の社会問題や心温まるストーリーを題材にして、意見や考えを表現する力を育むことを目指した教科書である。授業では教科書に加え様々な教材を用いて４技能を駆使した言語活動を行い、総合的な英語運用能力の向上を図る。小テストも定期的に行う。授業で習ったことを確実に定着させていくために、家庭での学習時間の確保が求められる。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なやり取りや身近なトピックや社会問題についての英語を聞いて、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題に関する文章を読んで、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って質疑応答をすることができる。	身近なトピックや社会問題について、自分の意見をまとめて簡潔に発表することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って自分の意見をまとめて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の語彙、文法、表現といった知識を活用して、英語で発信されている情報の要点を理解し、また身の回りのことや自分の考えを表現する技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な問題について、英語で発信された情報や考えの要点を聞いたり、読んだりして理解している。また、身につけた英語表現を組み合わせて、相手に自分の考えを書いたり話したりして伝えている。	聞いたり読んだりしたこと、学んだことに基づき、主体的に相手の発信している内容を理解しようとし、自分の考えを伝えようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階評定を実施する。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法

1	Lesson 1 “Visitors’ Voices: Talking About Japan” Lesson 2 “Fashion as a Mirror of the Times”	聞くこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 外国人へのインタビューを聞いて、要点を捉えることができる。 c: 外国人へのインタビューを聞いて、要点を捉えようとしている。	定期考査（リスニング）
		読むこと	a: 日本の魅力についての記事を読んで概要を捉えることができる。学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取ることができる。 b: 日本の魅力や日本のファッションの歴史についての記事を読んで、概要を捉えている。 c: 日本の魅力や日本のファッションの歴史についての記事を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査（リーディング） 授業ノート（提出）
		話すこと（やり取り）	a: 学習する表現などを用いて、インタビューやほかの人のプレゼンテーションについて質問したり、質問に答えたりすることができる。 b: インタビューやほかの人のプレゼンテーションについて質問している。また、質問に答えている。 c: インタビューやほかの人のプレゼンテーションについて質問しようとしている。また、質問に答えようとしている。	ペアワーク、グループワーク評価
		書くこと	a: インタビューした情報を整理し、本課で学習した新語などを用いて書くことができる。 b: インタビューした情報や自分の感想を整理して、記事を書いている。 c: インタビューした情報や自分の感想を整理して、記事を書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	中間考査			
	Lesson 3 “Learning to Accept Differences” Lesson 4 “Changing Behavior in Unique Ways”	聞くこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞き取ることができる。 b: 堤監督からのメッセージを聞いて、要点を捉えることができる。 c: 堤監督からのメッセージを聞いて、要点を捉えようとしている。	定期考査（リスニング）
		読むこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取ることができる。 b: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する文を読んで、問題点や意見を捉えることができる。 c: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する文を読んで、問題点や意見を捉えようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（発表）	a: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する文を読んで内容を整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 b: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインをクラスで伝えるために、わかりやすく整理して話している。 c: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインをクラスで伝えるために、わかりやすく整理して話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する意見を整理し、本課で学習した新語などを用いて書くことができる。 b: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する意見を、わかりやすく整理して書くことができる。 c: 差別や偏見、社会問題を柔軟に解決するためのソ ーシャルデザインに関する意見を、わかりやすく整理して書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	期末考査			
2	Lesson 5 “A Journey to Peace” Lesson 6 “What Can We Eat in Space?”	聞くこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。 b: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する会話を聞き、要点や詳細を捉えている。 c: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する会話を聞き、要点や詳細を理解しようとしている。	定期考査（リスニング）
		読むこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する講義を読んで、要点や詳細を捉えている。 c: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する講義を読んで、要点や詳細を捉えようとしている。	定期考査（リーディング）

		話すこと （発表）	a: 平和の尊さや宇宙食の歴史について整理し、本課で学習した新語などを用いて話す技能を身に付けている。 b: 平和の尊さや宇宙食の歴史について整理して、わかりやすく伝えている。 c: 平和の尊さや宇宙食の歴史について整理して、わかりやすく伝えようとしている。	スピーチ
		書くこと	a: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する自分の意見と理由を、本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている。 b: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する自分の意見を理由とともに述べるパラグラフを書いたりしている。 c: 平和の尊さや宇宙食の歴史に関する自分の意見を理由とともに述べるパラグラフを書いたりしようとしている。	定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 7 “Bio-logging: Discovering Animals' Secrets” Lesson 8 “What to Do with Too Many Tourists”	聞くこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。 b: バイオロギングやオーバーツーリズムに関する会話を聞き、主張や論点を捉えている。 c: バイオロギングやオーバーツーリズムに関する会話を聞き、主張や論点を理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に，英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: バイオロギングやオーバーツーリズムに関する本を読み、要点や詳細を捉えている。 c: バイオロギングやオーバーツーリズムに関する本を読み、要点や詳細を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 学習する表現などを用いて、相手の意見に賛成・反対を表明し、その理由を説明する技能を身に付けている。 b: 相手の意見に賛成・反対を表明し、その理由を説明している。 c: 相手の意見に賛成・反対を表明し、その理由を説明しようとしている。	グループワーク
		書くこと	a: バイオロギングやオーバーツーリズムについて、異なる立場の主張を交えながらパラグラフで書く技能を身に付けている。また、祭りに参加するための申し込み用紙に必要事項を適切に書く技能を身に付けている。 b: バイオロギングやオーバーツーリズムについて、異なる立場の主張を交えながらパラグラフで書いている。 c: バイオロギングやオーバーツーリズムについて、異なる立場の主張を交えながらパラグラフで書こうとしていている。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3	Lesson 9 “Surviving in the Information Age” Lesson 10 “The Spirit of Zen: Less Is More”	聞くこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。 b: フェイクニュースや禅に関する話題を聞き、要点を捉えている。 c: フェイクニュースや禅に関する話題を聞き、要点を理解しようとしている。	定期考査 （リスニング）
		読むこと	a: 学習する文法や新語の意味の理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 b: フェイクニュースや禅に関する話題を読んで，要点や詳細を捉えている。 c: フェイクニュースや禅に関する話題を読んで、要点や詳細を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 学習する表現などを用いて、相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を伝える技能を身に付けている。 b: 相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を伝えている。 c: 相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を伝えようとしている。	スピーキングテスト グループワーク評価
		書くこと	a: フェイクニュースや禅に関する話題について整理して、本課で学習した新語などを用いて書く技能を身に付けている。 b: フェイクニュースや禅に関する話題について、具体例を示しながらわかりやすく書いている。 c: フェイクニュースや禅に関する話題について、具体例を示しながらわかりやすく書こうとしている。	定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度